

【市民の皆様へ】

コロナ禍の終息のためには、できるだけ多くの方々にワクチンを接種していただくことが最も効果的です。市民の皆様には、ワクチン接種による期待される効果と副反応との双方についてご理解いただいた上で、自らの意思で接種を受けていただきたいと思います。

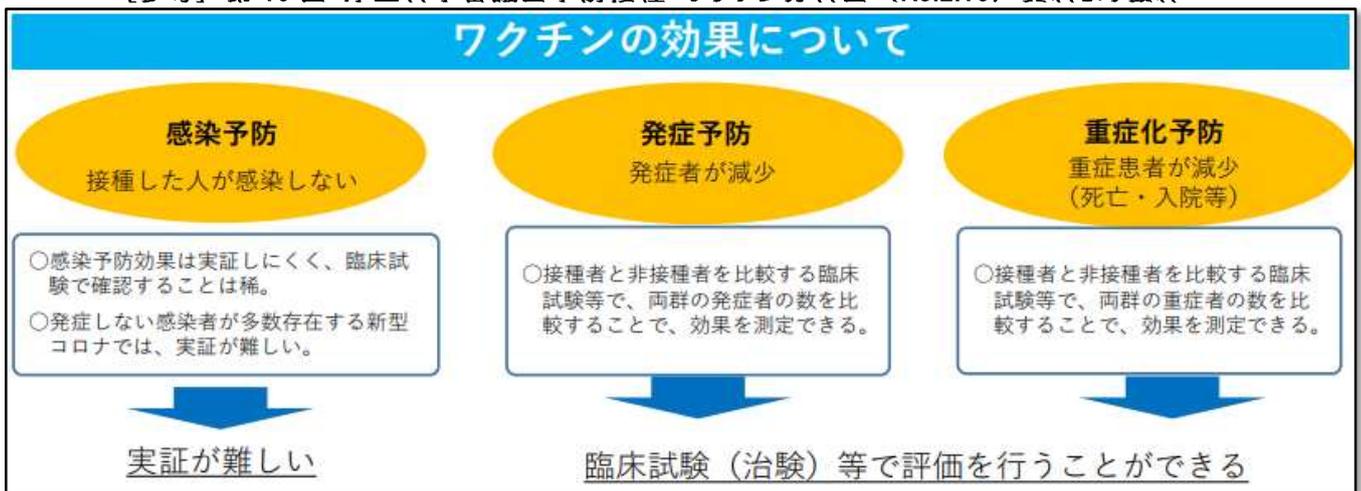
厚生労働省の発表によりますと、ワクチンの効能において、「発症予防」、「重症化予防」においては一定の評価が認められています。しかしながら、「感染予防」については、現在のところ効能の実証がむづかしいとされています。しかも、ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降とされています。

つまり、多くの方がワクチン接種を済ませれば、発症する方や重症化する方は少なくなることが期待されますが、現時点では「ワクチン接種をしたから感染しない」とは言い切れません。感染していても発症せず、周りの方に感染させてしまうかもしれません。

接種後も、当面はこれまで通り感染予防に留意した日常生活を送ってください。周囲への思い遣りの心が感染拡大を食いとめます。

金沢市長 山野之義

【参考】第19回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（R3.2.15）資料より抜粋



30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。